

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

★最初のISS構成要素打上げから2069日経過しました

★第9次長期滞在クルーのISS滞在は91日経過しました

★ISS動向

第9次長期滞在クルーのゲナディ・パダルカ、マイケル・フィンク両宇宙飛行士は、多くの科学実験と定期的なメンテナンス作業を実施しました。

ふたりは、自転車エルゴメータを漕ぎながら心肺系の状態を測定するロシアの実験を始め、多数の生物医学的な実験を行いました。

フィンク宇宙飛行士は、「デスティニー」(米国実験棟)内で、注射器から出た液滴がどのようにして球体になるか調べる実験や無重量環境での気泡の特性を調べる実験を行いました。また、米国時間7月14日に、ボストン・グローブ・ニュースペーパー・マガジンのリポータとISSでの生活と仕事について交信を行ったり、フロリダ沖の海底研究室「アクエリアス」に滞在しているNASAの研究チームと宇宙と海底を結んで数分間の交信を行いました。

プログレス補給船(14P)には、廃棄物が積み込まれました。プログレス補給船(14P)は同7月30日にISSから分離し、大気圏に突入して燃え尽きる予定です。次のプログレス補給船(15P)は、同8月11日にカザフスタンのバイコヌール宇宙基地から打ち上げられる予定で、ISSには同8月14日にドッキングする予定です。

プログレス補給船(15P)には、第9次長期滞在クルーと10月に打上げが予定されている第10次長期滞在クルーのための食料、燃料、水などの補給品が積まれます。

デスティニー内で実験を行う
フィンク宇宙飛行士

“今週のきぼう”

★HTV補給キャリア強度試験

6月末から三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所で、宇宙ステーション補給機(HTV)補給キャリアの強度試験が行われています。

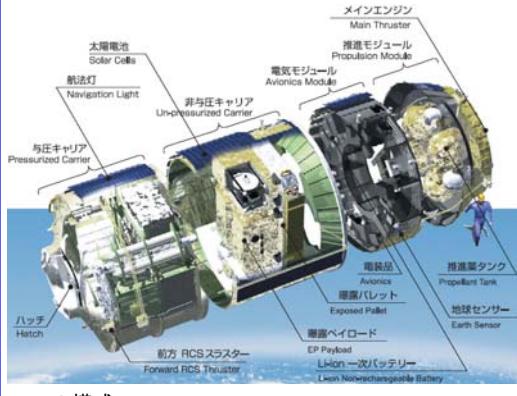
HTVとは、食糧や衣類、各種実験装置などをISSへ運ぶ無人の補給機で、能力増強型のH-IIAロケットで種子島から打ち上げられます。



強度試験中のHTV補給キャリア

HTVは、直径約4メートル全長約10メートルの大きさがあり、補給キャリアに貨物を搭載します。補給キャリアはISSとドッキングしている時に内部に宇宙飛行士が入って作業できる「与圧部」と、宇宙空間に曝露する実験装置等を運ぶ「非与圧部」という2つの貨物区画から構成されています。

今回の強度試験の目的は、HTVの補給キャリアが、H-IIAロケットによる打上げ時やISSへのドッキング時に受ける荷重に対して十分な強度を持っていることを確認することです。試験では、打上げ時とISSドッキング時の荷重の掛け方を模擬して各部の歪みなどを計測します。



HTVの構成

“トピック”

★宇宙で見る星空を映し出すMEGASTAR-II cosmos

7月11日から日本科学未来館にてプラネタリウム「MEGASTAR-II cosmos」が上映されています。

今までのプラネタリウムは数万個程度の星を映し出すことがほとんどですが、MEGASTAR-IIでは世界最多の500万個、12.5等星までという、肉眼で見ることのできない星までも再現しているそうです。このようにすることで天の川の立体感や色の濃淡、暗黒星雲の細部も再現しているとのこと。

夏休みなどをを利用してご覧になってみてはいかがでしょうか。

日本科学未来館(<http://www.miraikan.jst.go.jp/>)

■ 開館時間

10:00～17:00

毎週火曜日休館(7/27～8/31は無休)

■ 入館料

大人 500円

18才以下 200円(土曜日のみ無料)



(C)小林千恵子

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiクリーニュースマーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうWi-Fiクリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiクリーニュースから転載した旨を記述ください。